

芦屋市議会議員

大原ゆうき

令和5年  
6月定例会特集

Blog

ブログ、日々更新中!  
<https://oohara-yuuki.blog.jp/>

大原 裕貴

@ooharayuuki

TOPICS

1

## 芦屋市議会議員選挙において、3期目の当選を果たしました。

令和5年4月23日に執行された芦屋市議会議員選挙において、4040票もの投票をいただき、芦屋市政にもう一度携わる資格をいただきました。1期目の選挙が2793票、2期目の選挙が3068票とこれまでの選挙のとき以上の投票をいただいています。3期目の選挙ということで、過去の仕事に対する評価もいただけているのかと思います。嬉しい気持ちもありますが、これまで以上に結果が求められている重みも感じています。実るほど頭を垂れる稲穂かなの精神で、おごることなく謙虚に。そして2期目よりも大きな成果を出せるよう、芦屋のため、芦屋市民のために全力で頑張りたいと思います。

TOPICS

2

## 議会体制が確定。副議長に就任しました。

- 令和5年5月18日に開催された第2回臨時会において、芦屋市議会第21期の体制が以下のとおり決定。

## → 会派体制

<b>あしや政風会 (5名)</b> 幹事長 福井 利道(3期目) 副幹事長 川上 あさえ(2期目) 岩岡 りょうすけ(2期目) 原 なつ子(1期目) 福井 美奈子(4期目)	<b>公明党 (3名)</b> 幹事長 田原 俊彦(6期目) 副幹事長 帰山 和也(6期目) 西村 まさと(1期目)	<b>至誠会 (3名)</b> 幹事長 寺前 尊文(6期目) 副幹事長 西崎 薫(1期目) 中島 健一(8期目)
<b>日本共産党芦屋市議会議員団 (3名)</b> 幹事長 川島 あゆみ(2期目) 副幹事長 ひろせ 久美子(3期目) 平野 貞雄(10期目)	<b>日本維新の会 (3名)</b> 幹事長 浅海 洋一郎(2期目) 副幹事長 橋本 隆(1期目) 大原 裕貴(3期目)	<b>芦屋しみんの未来 (2名)</b> 幹事長 たかおか 知子(2期目) 副幹事長 中村 亮介(2期目)
		<b>会派に属さない議員 (2名)</b> 山口 みさえ(6期目) 長谷 基弘(8期目)

## → 役員体制

議長	帰山 和也(公明党)
副議長	大原 裕貴(維新)
監査委員	川上 あさえ(政風会)
阪神水道企業団議会議員	寺前 尊文(至誠会)

役員改選の結果、副議長に就任しました。副議長は一般質問ができないため、行政への提言機会が減ります。しかし、政策本位での議論が活発な議会をつくりたい。そのための議会改革を進めたいという思いから副議長への就任を表明しています。任期は1年と短いですが、しっかりと結果を出したいと思います。

## JR芦屋駅南地区再開発事業。市長が変わると計画も見直される？

### 議会で明らかになったこと

[詳しくはこちら➡](#)


5月31日に開催された建設公営企業常任委員協議会において、同事業の方向性が示された。

- ➡ 特定建築者の公募中止については、募集要項を見直して再公募する。公募については3か月ほど遅れる見込み。公益施設フロアの保留床(民間が保有する600平米)の使い道などの見直しが入る見込み。
- ➡ 見直しについて、現時点では具体的なものは出せない。冬頃には出せる見込み。
- ➡ 再開発ビルは管理処分計画の遂行を最優先し、基本的には触らない。
- ➡ 今回の修正は主に道路部分であり、事業完了時期(令和10年9月30日)への影響は出ないものとする。
- ➡ 公益施設フロアの権利床(市が保有する400平米)は、これまでの経緯として重要と考えており、保有面積の配分を変更する際には、議会にきちんと説明する。
- ➡ 市長が掲げる5原則(緑、集える、歩ける、未来志向、地権者の生活を守る)のうち、集えるについては「図書館」を軸に考えている。

### 思うこと

#### 再開発ビルは、既に仕様変更が難しいフェーズに入っていた

再開発ビルは地権者の住居等の代替となる。地権者の資産を買い取る際に公示価格以上の金額を提示できない行政の計画において、同じ地域に継続居住を望む地権者の希望を満たすのは必要な手続きである。そして、昨年度末に地権者が取得する部屋を確定する「管理処分計画」が決定している。市長が変わろうとも、ここを変えるのは難しい局面に来ていた。

#### 「図書館」は難しいのでは？

図書館法で定められる公立図書館は、司書と呼ばれる専門職員を配置するなど、様々な要件を満たす必要がある。当該用地の敷地面積(400㎡)でこれを成し遂げるのは難しい。仮に、ワンフロア全てを取得した(1000㎡)としても、伊勢町にある本館は約3000㎡であることを考えても、再開発ビルの中に「図書館」を設置するのは難しいのではないかと考える。

## 作業可能時間は週に2時間程度。極めて珍しく難しい工事の協定書が可決。

[詳しくはこちら➡](#)


### JRの線路上にある「第一跨線橋」という人道橋(右下写真)の撤去に関する工事協定をJR西日本と締結

- ➡ 同橋は、1926年に鉄道省(国鉄、JRの前身)によって架設。その後、1980年に芦屋市に無償譲渡された。
- ➡ 道路法による定期点検の結果、「健全性III(早期措置段階)」と診断。放置するといずれ通行禁止となる危険度の高い橋。
- ➡ 100年近く経過しており、耐用年数の限界を超えていることから、撤去の方針となっている。

#### 工事協定の概要

協定金額	11億9656万5000円
工期	2023年～2027年

- ➡ 通電設備が橋のすぐ近くにあるため、停電させないと作業ができない。そして鉄道運行上、停電可能な時間帯が週に1.5時間～2時間程度。
- ➡ 作業可能時間の都合で、工期を長く取らざるを得ない。

#### 附帯決議を付して可決

金額の根拠は、工事協定締結後の詳細設計で判明するので、委員会では示されず。積算根拠判明後、すぐに議会に報告する旨を附帯決議として付して可決することで議会としての意思を示している。

#### プロフィール

- 昭和59年(1984年)2月8日 芦屋生まれ(39歳)
- 伊勢幼稚園、シドニー日本人学校、関西学院中学部、関西学院高等部を経て関西学院大学経済学部を卒業。卒業後は民間企業でシステムエンジニアとして勤務。
- 平成27年、芦屋市議会議員選挙にて初当選。令和5年、3期目の当選を果たす。

#### 出前報告会募集中!

お一人での座談でも、複数での報告会でもお気軽にお申し付けください!  
希望日時と人数、希望テーマ(あれば)を添えて電話 or メールにてご連絡ください。